

沖縄県本部町へ 二千キロの 交流事業

南の国の真夏に挑む体験の旅

「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から行われている親善交流事業は、今年で16回目を数えます。「南の国の真夏に挑む体験の旅」として、6月26日から6月30日までの日程で本町各小学校の6年生児童28名が本部町を訪れ、南国沖縄の暑さと文化を体験しました。温かく迎えてくださった本部町の皆さんとの思い出を、参加した児童の感想文で先月号に引き続き紹介します。

平成8年7月に締結した「友好の町」盟約調印から今年で10周年を迎え、本町各小学校の6年生児童とともに、池部町長も本部町を訪問し、今後の交流について協議を行い、これまでの交流の成果を確認し、今後もお互いの異なる文化や環境を体験する、児童の相互親善交流を継続することになりました。

楽しかった4泊5日の旅
幾寅小学校

6年 辻澤 莉央



沖縄に行く前の日、私はドキドキして眠れませんでした。忘れ物がないかどうかをよくチェックをしている時、明日はもう沖縄かーと思えました。

1日目は移動ばかりで疲れました。でも飛行機に乗れて良かったです。

午後7時から、歓迎夕食会がありました。夕食はたくさんのおいしい沖縄料理がならんでいました。私はゴーヤチャンプルを食べてみまし

た。最初のうちは少しにがかったけど、後からは普通に食べられました。そして、よさこいを踊ってホテルへ行きました。

2日目は上本部小学校へ行きました。そして6年生とシッポ取りなどをしました。おやつにはサターアングギーが出てきました。おいしかったです。

学校を出て、熱帯ドリムセンターや美ら海水族館に行きました。熱帯ドリムセンターでは沖縄の色々な植物などが見られました。

水族館では、ジンベエザメやエイなどが見られました。一番すごかったのはジンベエザメが3匹もいて、エサを食べながら立ち泳ぎをしているところでした。次にグリーンフラッシュ



ビーチに行ったらパーベキューをした後、花火をしてホテルへ行きました。3日目は朝から海で泳ぎました。バナナボートにも乗りました。スピードが速くて楽しかったです。泳ぎ終わった後は、藍染やガラスの物などを作りました。

その後、博物館に行ったり、伊豆味パイン園に行ったりしてホームステイする家に行きました。ホームステイ

の時には、家族の人といっしょに海に行きました。大きいヤドカリやカニ、タツノオトシゴも見られて良かったです。

朝になるとホームステイ先の人とわかれて首里城に行きました。すごく大きくてびっくりしました。次に鍾乳洞や王国村という所に行きました。鍾乳洞はすごく大きい物がありまして、すごく迫力がありました。エイサーも見ました。見ているだけでも、楽しかったです。

ひめゆりの塔や平和の礎、平和祈念資料館では、戦争の事がわかりました。すごく痛々しく思いました。次に那覇ショッピングセンターに行きました。お土産をたくさん買いました。ホテルに行

き、荷物を置いて夕食を食べに行きました。おいしかったです。最後の日は、移動ばかりで疲れました。沖縄と北海道のちがいがわかったし、本部町の人と友達になれて良かったです。すごく楽しかった4泊5日の旅になって良かったと思います。

北海道との交流
落合小学校
6年 獅畑 はるか



沖縄で一番心に残っていることは、伊豆味パイン園とホームステイとマリンス

ボーツで乗ったバナナボートです。

伊豆味パイン園に入ると、すぐ横に「めんそーれー」と書いてありました。店員さんがパインをだしてくれ、みんなでパインを食べました。食べる時も買ったパインなんかより甘くて、みんな「甘い！」とびびくりしていました。

ハブとマングースのショーをスクリーンで見せてもらいました。白へびや毒のないへび、ハブもさわれました。さわると冷たくて、背中はずらざらで、おなかはずるずるしています。伊豆味パイン園では、もつとも危険なハブもさわることができて、「良い体



験だなあ。」と思いました。マリンスポーツのバナナボートでは、まん中に座っていました。まん中に座るとも少し入ってとても痛かったです。エメラルドグリーンの海で泳ぎました。でも、もぐってみるとその辺がにごって、「全然、想像とちがうな。」と思いました。

ホームステイでは、ホームステイ先の子の友だちと海に行くと、貝がらを拾ったり、泳いだり、土でトンネルを作ったりしました。泳いでいると、ホームステイ先の子の友だちが、なまこをつかんで、遠くにながっていました。私は、「よく、さわられるなあ。」と思いました。帰ってごはんを食べました。ゴーヤの和えものがでて、ゴーヤを食べました。最初は大丈夫だったけど、あとから苦くなりました。一口食べただけで、あと

ゴーヤは食べませんでした。ご飯を食べ終わってから、ホームステイ先の子のお姉さんと花火をしたり、一緒の部屋で寝ました。ホー

ムステイ先の家族の人たちと仲良くなれて、とてもうれしかったです。

沖縄での5日間で、「まったく、ちがう。」ということがわかりました。でも、今やっている体験の翼や体験の旅をそのまま続けて、北海道との交流を深めていってほしいです。

楽しいあついで4泊5日の旅
幾寅小学校

6年 中村 光司



6月26日に僕は沖縄に行きました。夜は歓迎夕食会でホームステイ先のかずやと会いました。YOSAKOIを踊ったあとの児童代表の言葉はとっても緊張しました。今日は移動ばかりだったので、とても疲れ

ました。6月27日、上本部小学校に行きました。いろんな遊びをして、たくさん友達を

つくれてよかったです。午後は美ら海水族館に行きました。ジンベエザメの立ち泳ぎを見たり、たくさん魚を見てよかったです。

6月28日は、楽しみにしていたバナナボートに乗りました。塩水がとんで目に入ったり、あたったりして目が痛かったです。貝も泳いでる時にたくさん取りました。午後からはガラス細工や沖縄伝統の藍染をやり

ました。難しかったけど楽しかったです。この日にはホームステイがありました。たくさんかざやとしゃべりました。

6月29日、今日は戦争と平和の事を勉強しました。ひめゆりの塔や平和祈念資料館などを見学しました。

6月30日に北海道に帰りました。沖縄から帰るのはとてもさみしかったです。



幾寅小学校と上本部小学校が友好校になりました

幾寅小学校では、本町と本部町で行っている交流を、学校間同士でも行おうと、今回の沖縄訪問の際に、幾寅小学校と同じ規模の本部町立上本部小学校と友好の証をかわして友好校になりました。

幾寅小学校からは、児童会で制作した学校紹介のビデオレターをプレゼントし、上本部小学校からは、沖縄の貝殻などが贈られてきました。

今後は、お互いの地域や学校について学び合い、末永く交流を続けていくことになり

